

令和8年度
野田宇太郎文学資料館企画展

2026.

8.27(木)～12.14(月)

※入館無料
※水曜日休館

野田宇太郎文学資料館

開館時間：10:00～18:00(金曜日～20:00)

“文学散歩ブーム”と

野田宇太郎

主催／小郡市・小郡市教育委員会

後援／野田宇太郎顕彰会・福岡県・福岡県教育委員会・RKB毎日放送・NHK福岡放送局・FBS福岡放送・KBC・テレQ・テレビ西日本・
朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞社



上：ラジオ収録をする野田宇太郎

「文学散歩」は野田宇太郎が創った言葉

「文学散歩」は元々、日本各地の文学にゆかりのある土地を実際に踏査し、紀行文としてまとめた野田の著書につけられたタイトルでしたが、今では普通名詞として身近に使われています。

1951年、戦争や戦後の高度経済成長により風化していく東京の文学的遺産を発掘・記録するため、野田は新聞紙上で「新東京文学散歩」の連載を開始します。それがラジオ放送されると、翌年に出版した文庫版はベストセラーになり、「文学散歩」は一大ブームを巻き起こしました。バス会社の企画で野田が現地解説を行う「バスによる文学散歩」も開催され、ブームはさらに過熱しますが、野田は次第に文学が観光や娯楽として消費されることに憤りを感じ始め、自身を会長とした「文学散歩友の会」を結成することで「文学散歩」の理念を守ろうと奮闘しました。

今企画展では、野田が過去を未来に伝えるための文学顕彰活動として取り組んだ「文学散歩」の軌跡を、「文学散歩友の会」の資料を中心にご紹介します。

下：「バスによる文学散歩」で車内解説をする野田宇太郎



右：「文学散歩友の会」会員章
(ピンバッチ)



下：雑誌「文学散歩」全25号



関連イベント

○記念講演会

演題 野田宇太郎の文学散歩はどのように拡張できるのか
—『文学散歩の研究』を書くことで見えてきたものを振り返る—

講師 岡野 裕行さん（皇學館大学 文学部国文学科教授）

日時 2026年11月22日（日） 14:00～16:00（開場13:30）

定員 50名（参加無料・要申込）

場所 小郡市文化会館 小ホール

申込 電話・WEBフォームにてお申し込みください。



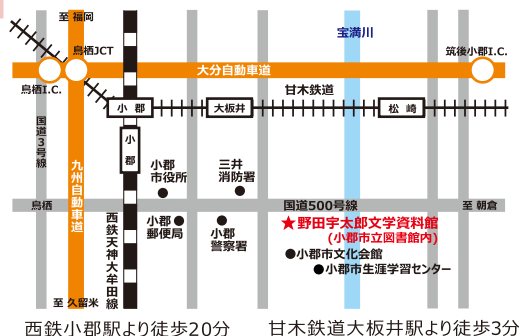
講演会申込用
WEBフォーム

○ギャラリートーク（職員による展示解説）

9月12日（土）、12月5日（土） 各回14時～（約30分）

会場：野田宇太郎文学資料館展示室

申込不要です。展示室前にお越しください。



西鉄小郡駅より徒歩20分

甘木鉄道大板井駅より徒歩3分

野田宇太郎文学資料館 (小郡市立図書館内)

〒838-0142

福岡県小郡市大板井136-1

電話 0942-72-7477

FAX 0942-72-3501

URL：<http://www.library-ogori.jp/noda/index.html>